



2025年12月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2025年11月12日

上場会社名 CDS株式会社

上場取引所 東 名

コード番号 2169 URL <https://www.cds-japan.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 芝崎 雄太

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理部門統括 (氏名) 中嶋 國雄

TEL 052-587-5437

配当支払開始予定日 —

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年12月期第3四半期の連結業績(2025年1月1日～2025年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年12月期第3四半期	6,620	15.1	572	46.6	583	45.5	385	46.2
2024年12月期第3四半期	7,794	5.1	1,072	8.4	1,071	8.5	715	9.0

(注) 包括利益 2025年12月期第3四半期 434百万円 (39.9%) 2024年12月期第3四半期 724百万円 (10.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年12月期第3四半期	56.48	—
2024年12月期第3四半期	104.95	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2025年12月期第3四半期	10,777	8,780	81.5	1,287.54
2024年12月期	11,386	8,898	78.1	1,304.76

(参考) 自己資本 2025年12月期第3四半期 8,780百万円 2024年12月期 8,898百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年12月期	—	34.00	—	44.00	78.00
2025年12月期	—	37.00	—		
2025年12月期(予想)				37.00	74.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2024年12月期の期末配当金につきましては、創立45周年記念配当10円を含んでおります。

3. 2025年12月期の連結業績予想(2025年1月1日～2025年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	9,259	11.8	939	37.7	942	37.4	628	40.6
								92.08

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無

新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2025年12月期3Q	6,924,400 株	2024年12月期	6,924,400 株
2025年12月期3Q	104,761 株	2024年12月期	104,761 株
2025年12月期3Q	6,819,639 株	2024年12月期3Q	6,819,772 株

期末自己株式数

期中平均株式数 (四半期累計)

添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる結果となる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
3. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計方針の変更に関する注記)	8
(追加情報)	8
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8
(セグメント情報等の注記)	9

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善やインバウンド需要の伸長等により、緩やかな回復基調となりました。しかしながら、アメリカの関税引き上げ政策、ロシアによるウクライナ侵攻の長期化、中東情勢の悪化、原油をはじめとする資源価格や原材料の高騰、中国景気の停滞、円安の継続等により、依然として先行きは不透明な状況が続いております。

当社グループの主要な取引先が属する業界の動向としましては、自動車市場では生産台数が微増し、産業機器市場では情報インフラ関係の需要が拡大傾向にあります。しかしながら、アメリカの関税引き上げによる企業業績への影響は、濃淡はあるものの多くの企業が被っており、間接的に当社グループにも及んでおります。

このような状況のもと、当社グループは3つの事業（技術情報ソリューション事業、FAロボットソリューション事業、デジタルソリューション事業）を展開し、自動車業界をはじめFA機器、産業機器、医療機器、情報機器、教育関連等様々な業界に向けてのサービスを提供してまいりました。また、各事業の連携と相互補完によって幅広いニーズに対応できる企業構造の形成に取り組んでおります。

前年同期と比較した当第3四半期連結累計期間の業績は、主要な取引先の業績低迷に起因する新製品開発抑制、予算削減等の影響を受け、減収減益となりました。

具体的な業績の数値は、次のとおりであります。

売上高	6,620百万円	(前年同期比	15.1%減)
営業利益	572百万円	(同上	46.6%減)
経常利益	583百万円	(同上	45.5%減)
親会社株主に帰属する 四半期純利益	385百万円	(同上	46.2%減)

セグメントごとの業績は、次のとおりであります。（各セグメントの売上高は、セグメント間の内部売上高又は振替高を含みます。）

（技術情報ソリューション事業）

主要な取引先での新製品開発抑制、予算削減、スケジュール遅延等の影響を受けたことにより、売上高2,594百万円（前年同期比2.9%減）、営業利益625百万円（前年同期比20.0%減）の減収減益となりました。

（FAロボットソリューション事業）

見込んでいた学校向け大型案件が来年度へ延期されたこと、企業向け大型案件の受注時期が遅延したことにより、売上高609百万円（前年同期比34.8%減）、営業利益6百万円（前年同期比96.2%減）の減収減益となりました。

（デジタルソリューション事業）

主要な取引先での投資抑制や経費削減の影響を受けたことにより、売上高3,475百万円（前年同期比17.9%減）、営業利益490百万円（前年同期比25.8%減）の減収減益となりました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

（資産）

当第3四半期連結会計期間末の総資産は10,777百万円であり、前連結会計年度末より608百万円減少しております。内訳としては、流動資産は808百万円減少の7,493百万円、固定資産は200百万円増加の3,283百万円であります。

流動資産の変動の主な要因は、現金及び預金が410百万円増加した一方で、受取手形、売掛金及び契約資産が1,344百万円減少したこと等であります。また、固定資産の変動の主な要因は、投資その他の資産が153百万円（主に投資有価証券）、有形固定資産が64百万円（主に土地）増加したこと等であります。

（負債）

負債は前連結会計年度末より491百万円減少し、1,996百万円となりました。内訳は流動負債が1,978百万円、固定負債が18百万円であり、流動負債は、前連結会計年度末より494百万円減少しております。流動負債の変動の主な要因は、賞与引当金が264百万円増加した一方で、支払手形及び買掛金が187百万円、短期借入金310百万円、未払法人税が205百万円減少したこと等であります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末の純資産は8,780百万円であり、前連結会計年度末より117百万円減少しております。純資産の変動の主な要因は、その他有価証券評価差額金が47百万円増加した一方で、利益剰余金が167百万円減少したこと等であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年12月期の連結業績予想につきましては、2025年8月8日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」から変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,176,349	4,586,936
受取手形、売掛金及び契約資産	3,199,256	1,854,275
電子記録債権	355,686	265,950
商品及び製品	79,284	75,737
仕掛品	260,486	343,675
原材料及び貯蔵品	5,477	6,909
その他	228,234	362,429
貸倒引当金	△2,020	△1,930
流動資産合計	8,302,755	7,493,985
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,382,811	1,357,103
土地	945,130	1,025,589
その他（純額）	109,404	119,130
有形固定資産合計	2,437,346	2,501,822
無形固定資産		
のれん	25,332	12,666
その他	119,388	113,873
無形固定資産合計	144,720	126,539
投資その他の資産		
その他	505,261	659,176
貸倒引当金	△3,950	△3,950
投資その他の資産合計	501,311	655,226
固定資産合計	3,083,378	3,283,588
資産合計	11,386,134	10,777,573
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	438,536	251,388
短期借入金	600,000	290,000
未払金	369,887	280,435
未払法人税等	306,579	101,506
未払消費税等	144,583	108,995
賞与引当金	201,063	466,049
受注損失引当金	13,074	436
製品保証引当金	28,052	24,434
その他	371,102	455,009
流動負債合計	2,472,880	1,978,254
固定負債		
退職給付に係る負債	10,705	11,287
資産除去債務	4,443	4,443
その他	76	3,001
固定負債合計	15,225	18,732
負債合計	2,488,105	1,996,986

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	940,327	940,327
資本剰余金	1,171,768	1,171,768
利益剰余金	6,755,616	6,588,456
自己株式	△26,658	△26,658
株主資本合計	8,841,053	8,673,894
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	47,545	95,205
為替換算調整勘定	9,429	11,486
その他の包括利益累計額合計	56,974	106,692
純資産合計	8,898,028	8,780,586
負債純資産合計	11,386,134	10,777,573

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年9月30日)
売上高	7,794,137	6,620,582
売上原価	5,364,235	4,684,082
売上総利益	2,429,902	1,936,500
販売費及び一般管理費	1,357,155	1,363,989
営業利益	1,072,747	572,511
営業外収益		
受取利息	345	5,279
受取配当金	2,331	4,411
売電収入	1,921	2,459
受取遅延損害金	—	4,977
その他	3,773	4,874
営業外収益合計	8,371	22,001
営業外費用		
支払利息	2,100	2,849
支払融資手数料	5,168	5,146
為替差損	978	1,592
減価償却費	1,265	1,231
その他	594	431
営業外費用合計	10,108	11,251
経常利益	1,071,010	583,261
特別利益		
固定資産売却益	226	578
特別利益合計	226	578
特別損失		
固定資産除却損	1,684	221
減損損失	1,782	—
会員権評価損	5,100	—
貸倒引当金繰入額	1,100	—
特別損失合計	9,666	221
税金等調整前四半期純利益	1,061,569	583,619
法人税、住民税及び事業税	465,622	268,404
法人税等調整額	△119,817	△70,016
法人税等合計	345,805	198,387
四半期純利益	715,764	385,231
親会社株主に帰属する四半期純利益	715,764	385,231

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年9月30日)
四半期純利益	715,764	385,231
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	8,096	47,659
為替換算調整勘定	199	2,057
その他の包括利益合計	8,295	49,717
四半期包括利益	724,060	434,948
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	724,060	434,948
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更に関する注記)

(法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日 企業会計基準委員会)、「包括利益の表示に関する会計基準」(企業会計基準第25号 2022年10月28日 企業会計基準委員会)および、「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日 企業会計基準委員会)を第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(グローバル・ミニマム課税制度に係る法人税等の会計処理及び開示に関する取扱いの適用)

「グローバル・ミニマム課税制度に係る法人税等の会計処理及び開示に関する取扱い」(実務対応報告第46号 2024年3月22日 企業会計基準委員会)を第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。なお、当該実務対応報告第7項を適用しているため、当第3四半期連結財務諸表においては、グローバル・ミニマム課税制度に係る法人税等を計上しておりません。

(追加情報)

(法人税等の税率の変更による影響)

「所得税法等の一部を改正する法律」(令和7年法律第13号)が2025年3月31日に国会で成立し、2026年4月1日以後開始する連結会計年度より「防衛特別法人税」の課税が行われることになりました。

これに伴い、2027年1月1日以後開始する連結会計年度以降において解消が見込まれる一時差異等に係る繰延税金資産及び繰延税金負債については、法定実効税率を30.06%から30.96%に変更し計算しております。

なお、この税率変更による四半期連結財務諸表に与える影響は軽微であります。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年9月30日)
減価償却費	105,763千円	107,102千円
のれんの償却額	12,666	12,666

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	技術情報ソリューション事業	F Aロボットソリューション事業	デジタルソリューション事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	2,661,333	935,346	4,197,457	7,794,137	—	7,794,137
セグメント間の内部売上高又は振替高	10,706	24	34,476	45,207	△45,207	—
計	2,672,039	935,371	4,231,933	7,839,344	△45,207	7,794,137
セグメント利益	782,206	168,044	661,548	1,611,799	△539,051	1,072,747

(注) 1. セグメント利益調整額△539,051千円には、セグメント間取引消去7,236千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△546,288千円が含まれております。全社費用は、主にセグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「デジタルソリューション事業」セグメントにおいて、固定資産の減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては1,782千円であります。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2025年1月1日 至 2025年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	技術情報ソリューション事業	F Aロボットソリューション事業	デジタルソリューション事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	2,577,761	603,279	3,439,541	6,620,582	—	6,620,582
セグメント間の内部売上高又は振替高	16,955	6,270	36,439	59,664	△59,664	—
計	2,594,716	609,549	3,475,980	6,680,247	△59,664	6,620,582
セグメント利益	625,714	6,359	490,771	1,122,845	△550,333	572,511

(注) 1. セグメント利益調整額△550,333千円には、セグメント間取引消去7,912千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△558,246千円が含まれております。全社費用は、主にセグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。